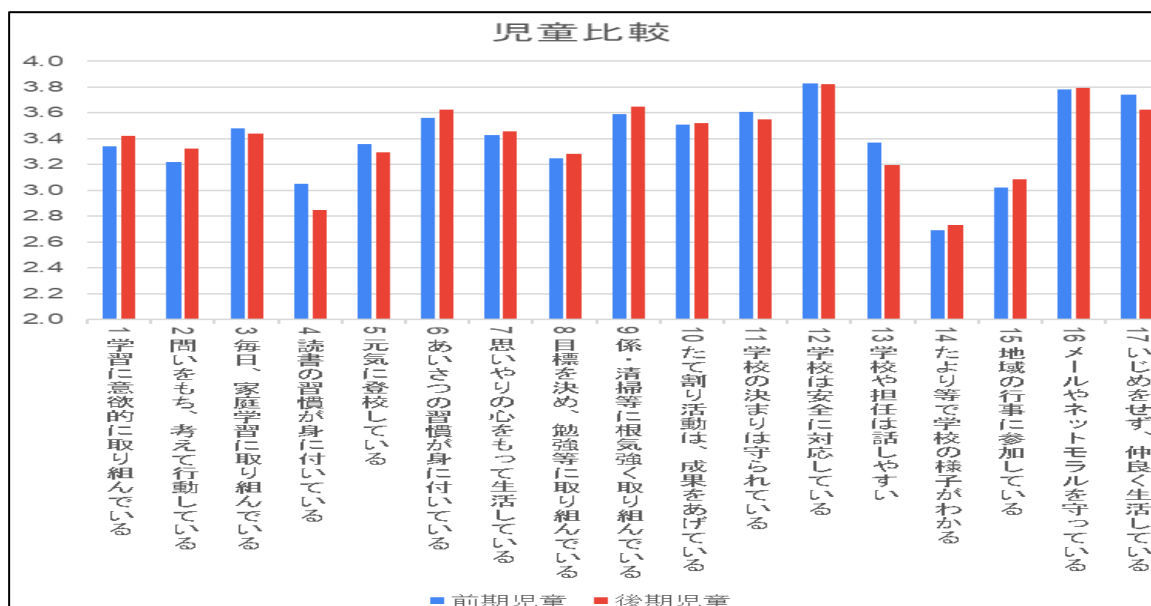


令和6年度 後期 学校評価 考察

令和7年2月吉日

後期学校評価アンケートのご協力ありがとうございました。いただいたご意見をもとに、来年度に向け学校運営に生かしてまいります。後期は主に前期と比較をして考察しています。なお今年度より、自由記述をされた方で「回答を希望する」を選択された方には、直接連絡をさせていただくこととしております。学校評価の件でご質問等ございましたら、学校へお問い合わせください。



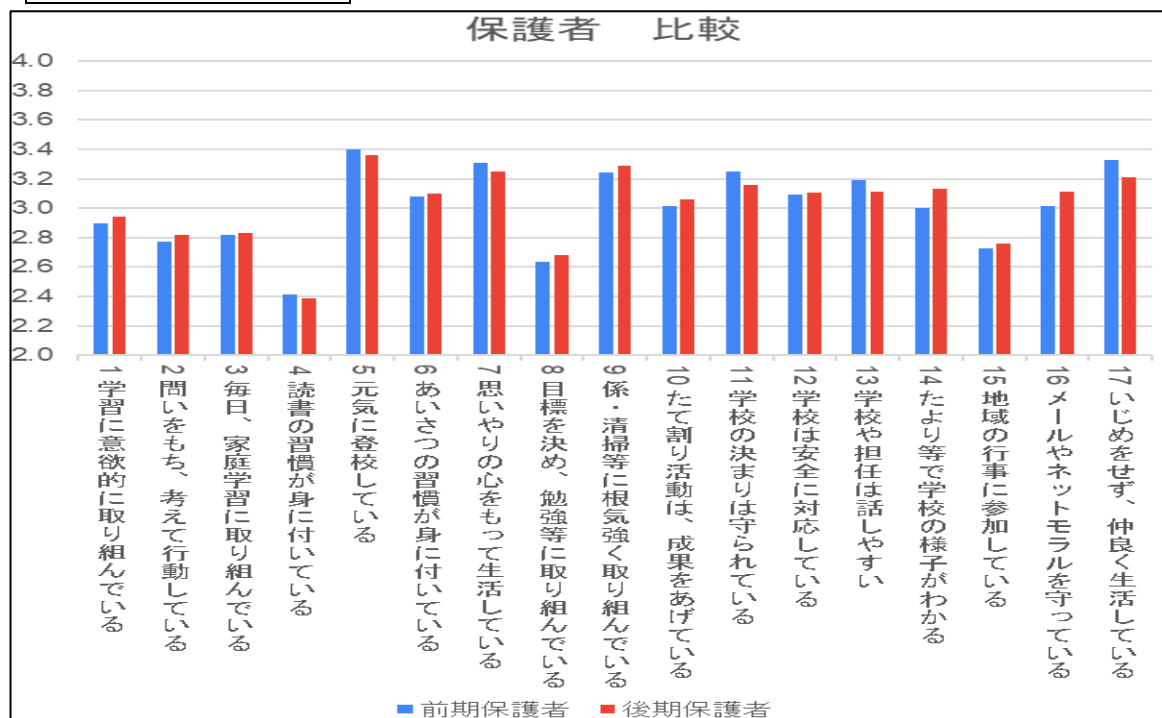
※質問項目は簡略化して記述。グラフ左軸数値 0.0～2.0 部分は省略（以下同様）

グラフの数値は小数第2位までの数値で記載、下記は小数第2位を四捨五入。

回答数182名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
前期児童	3.3	3.2	3.5	3.1	3.4	3.6	3.4	3.3	3.6	3.5	3.6	3.8	3.4	2.7	3.0	3.8	3.7
後期児童	3.4	3.3	3.4	2.8	3.3	3.6	3.5	3.3	3.6	3.5	3.5	3.8	3.2	2.7	3.1	3.8	3.6

前期と比較して、上昇した項目については0.1pt程度で、大きな変動は見られなかった。No1、No2の数値から、子供たちは進んで学習に取り組み、考えて行動できるようになってきたと感じていることがわかる。No15は、後期は団地祭りをはじめとした地域行事が多く開催され、子供たちの参加も目立った。その点が数値に表れたと考える。No4は0.3pt下がり、読書に取り組めなかったと考えている子供が増えている。読書週間の設定や読書量の多い子供を表彰するなど、イベントを開催したが、さらに読書好きが増えるよう、学校図書館指導員との連携や地域の公民館図書館利用推進も図っていきたい。また、No13の結果から、様々な業務や対応を精選し、担任が子供たちとじっくり向き合う時間を確保できるよう考えていきたい。それにより、もっと子供とのコミュニケーションをとることで話せる関係を作っていきたい。

保護者 前期後期 比較



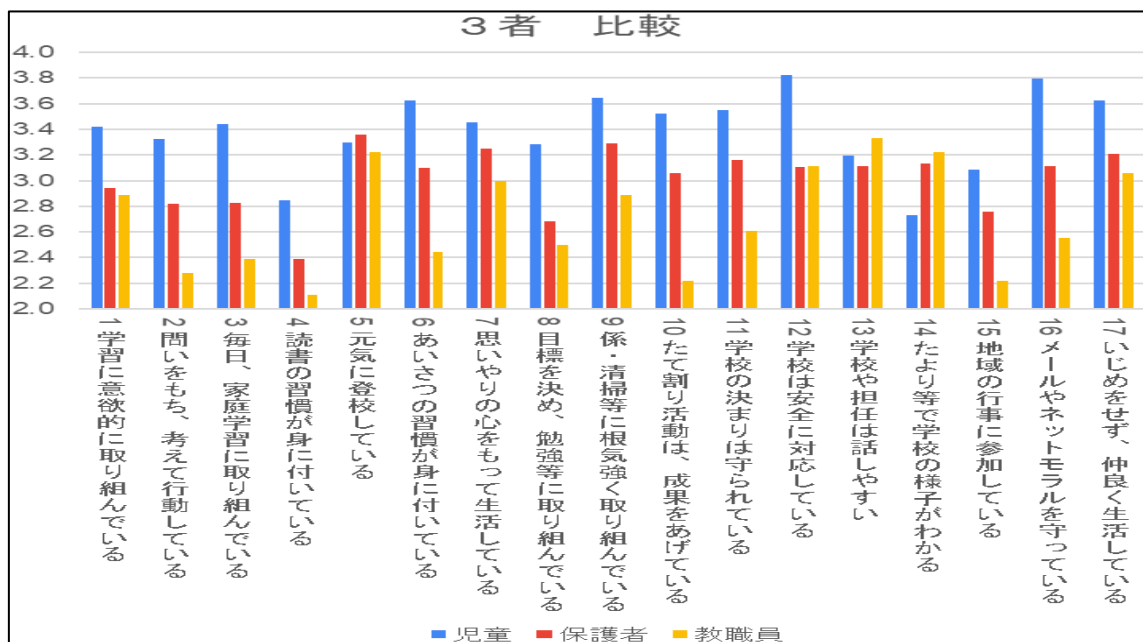
※グラフと表の値の誤差は、グラフは小数第2位までの数値で記載、表は小数第2位を四捨五入した数値のため。

回答数176名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
前期保護者	2.9	2.8	2.8	2.4	3.4	3.1	3.3	2.6	3.2	3.0	3.3	3.1	3.2	3.0	2.7	3.0	3.3
後期保護者	2.9	2.8	2.8	2.4	3.4	3.1	3.3	2.7	3.3	3.1	3.2	3.1	3.1	3.1	2.8	3.1	3.2

児童と同様に前期と比較して、大きな変動は見られなかった。No10 の上昇から、異学年交流の意義を理解していただいたことが伺える。No14 について、文書配付からすぐる配信にしたことで、情報をいつでも、どこでも見られるようになった。今後はもっと子供の様子や、子供の声を掲載するなど、内容面の充実を図り、保護者の皆さんに伝わるような紙面を目指していきたい。

No13 の数値が減少していることから、今後もさらに子供に向き合って子供理解に努めるとともに、保護者の皆さんの声にしっかりと耳を傾けて、対応できるようにしていきたい。

後期 三者 比較



後期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
児童	3.4	3.3	3.4	2.8	3.3	3.6	3.5	3.3	3.6	3.5	3.5	3.8	3.2	2.7	3.1	3.8	3.6
保護者	2.9	2.8	2.8	2.4	3.4	3.1	3.3	2.7	3.3	3.1	3.2	3.1	3.1	3.1	2.8	3.1	3.2
教職員	2.9	2.3	2.4	2.1	3.2	2.4	3.0	2.5	2.9	2.2	2.6	3.1	3.3	3.2	2.2	2.6	3.1

それぞれの項目で「児童」と、「保護者・教職員」の数値の開きがあることがわかる。

特に No 1、12 は顕著に表れている。子供たちは意欲的に学習に取り組んでいると考えている一方で、2 者は子供はそこまでできているとは考えていないようである。2 者の望みや、期待の表れとも考えられるが、子供自身は頑張っていると思っているので、やる気をそぐことのないような励ましの言葉をかけて、さらに伸ばしていきたい。No 12 は安全に対する意識の差が大きく表れていることがわかる。子供にとって学校は安全なところ、自分を守ってくれる場所であるという認識を持っている点は良い点ではある。しかし、登下校時における交通安全、不審者に合わないようにするための行動のような、学校外での対応について再度指導を行っていきたい。また校内においても危険箇所や、死角になるところを改めて確認して改善していきたい。

また、No 2、3、6、10、11、15、16 は教職員の数値の低さが目立っている。No 2 学習の習慣化を図るため、担任は家庭学習への取り組みを推奨している。子供は取り組んでいるという認識であるので、今後は取り組み方、内容面の充実が課題と考える。学校として、子供たちにどのようなことに取り組めばよいのか、また、定期的に友達の見学や内容の紹介等を通して、子供の意欲を大切にしながら内容面の向上を図っていきたい。

No 6 の挨拶の習慣については、登校した際や教室内ではとても元気な挨拶で、よくできていると感じる。しかし、廊下等ですれ違う際や、来客への挨拶がまだ十分ではない。生

活する上で基本であるので今後も挨拶の励行を呼びかけていきたい。教職員も子供たちの手本となるような挨拶を心がけていきたい。No11の学校の決まりを守ることについて、名札の着用や廊下の右側歩行、学習の開始時刻を守る等、まだ守れていない子供が見られる。決まりがある理由まで掘り下げて指導をし、理解できた上で守れるようにしていきたいと考える。

No16の情報モラルについて、守っていると考えている子供たちが多いが、大人はそうは考えていないことが読み取れる。学校外の出来事で、かつネット上でのやりとりのため、何が行われているのか把握することができず、事案が起きてから対応することがある。中にはスマートフォンを持っていなくても持っている友達との関わりでトラブルになることもある。学校での情報モラル教育は継続して行っていくが、家庭においてもスマートフォン等の使用について、家庭での活用のルールを作り、定期的な確認をお願いしたい。

※アンケートのご協力ありがとうございました。

ご指摘いただいた点は今後の学校経営に生かしてまいります。